

ご協力いただける方、募集中です！



ボランティアさん

子どもと遊ぶのが好きな方、事務局のお手伝いを一緒にして下さる方、お待ちしております。

<小児待合室活動日>

毎週月曜日・木曜日、第2土曜日・第4日曜日 午前11時～午後2時

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更されることがあります。

後援会員さん・ご寄付

当団体の活動は、みなさまの会費とご寄付や助成金で行っています。
ご理解とご協力をお願いいたします。

後援会員…ご入会いただくと「こどものちから通信」をお届けします。

◆個人3,000円/年 ◆団体(1口)10,000円/年

ご寄付…みなさまの温かいお気持ちは、きょうだいさんの笑顔を増やす活動に大切に活用させていただきます。

◆「こどものちから」の1年は、4月から翌年3月までです(へへ)

お振込先

郵便振替番号:00170-7-571697

口座名:特定非営利活動法人こどものちから

お問い合わせ・発行元

「特定非営利活動法人こどものちから」事務局

〒136-0073 東京都江東区北砂5-20-18-211

TEL:080-6867-6135 メールアドレス:tarumifight@yahoo.co.jp

※独立した事務所がございませんので、ご連絡は上記メールアドレスまで
お願いいたします。

Facebook:www.facebook.com/kodomonotikara

ホームページ:<http://kodomono-chikara.org/>

<協力団体> 大原薬品工業株式会社

株式会社ソフトクリエイティブホールディングス

クリフォードチャンス法律事務所

たくさんの方々や企業の方々からご寄付をいただきました。
いつもお心に留めていただきありがとうございます。

代表 井上るみ子



病院に連れてこられても病棟には入れない
きょうだいさんに遊んでもらう活動をしています。



もう直ぐ、梅雨になりますね。
ジメジメ、暑さを忘れるように
楽しいこと、美味しい物を考えて過ごせたら～豚さんとともに



<制作者 スタッフ・さいとう はるみ>

No. 29 2025年6月発行

藤田浩子さんのおはなし会

2月23日(日)午後1時～3時 協働ステーション中央にて

参加される方が心待ちにされている藤田さんのおはなし会。

15名のスタッフ・ボランティアと34名のみなさんをお迎えしました。

受付時間よりも少し早めに集まり始め、開催時間前には全員集合。

「今回はどんなおはなしが出てくるのかな？」

ワクワクしながらおはなしが始まるのを待つみなさんの顔は、すっかり童心に返っているように見えます。



「魔法のカード」不思議です！

「ひざをたたいて」「時計屋さん、今何時？」「良いお顔」「お手玉回し」「手ぬぐいを使って」等々、初めて会うお隣さんともすぐに打ち解けて和気あいあい。みなさんの笑顔がはじけました。

「魔法のカード」では、生まれた日にちを当てることができました。「どうしてわかるの？」みなさんびっくり！！

聞き手全員が参加するおはなしや、つくしんぼのクイズなど盛りだくさん。

笑い声の絶えない2時間はあっという間に過ぎていきました。

☆藤田さんの語りは、耳で聴くと言うより心で聴く、温かくやわらかな語りでした。

☆昔の遊びや正月歌など知らなかったことを体験できて楽しかったです。

こどもの遊びでもやってみると難しく、一緒に挑戦できて素敵だなと思いました。

☆ただただ楽しく時間があっという間に過ぎました。

☆お隣の方とも遊びを通して交流できて良かったです。

☆盛りだくさんな内容、スタッフさんたちのお心遣いにホッカリ。心が温かく幸せな空間でした。

☆「鬼は内」は、こどもが怖がる鬼のイメージを覆す良いおはなしでした。

福島なまりの語り口に温かさを感じます。

☆寒い中、道路に立って親切な案内をしてくださったスタッフの方々、本当にありがとうございました。助かりました！！



かばさんのマスク「ハクション!!」

活動内容

新型コロナウイルス感染症対策のため、残念ながら院内での活動は現在も休止中です。

- ◆2月23日(日)「藤田浩子さんのおはなし会」開催
- ◆3月 1日(土) 協働ステーション中央主催「つながりマルシェ」ブース出展
- ◆3月 2日(日) こどもを亡くした親の会「のんびり稲村ヶ崎の会」協力
- ◆3月 9日(日) 東京おもちゃ美術館主催「病児のあそびとおもちゃケア」参加
- ◆5月10日(土) 大妻女子大学「ボランティア説明会」参加
- ◆5月22日(木) 難病のこども支援全国ネットワーク主催「プレイリーダー養成講座」講演
- ◆5月25日(日) 第13回「こどものちから総会」開催
- ◆6月20日(金) 通信29号 発行

今後の予定

- ◆ 6月29日(日)「『すくすく』網膜芽細胞腫の家族の会」勉強会サポート保育に向けて、内部研修会および事前準備
- ◆ 7月 8日(火) 日本女子大学「フィールドワーク演習」講演
- ◆ 7月20日(日)「『すくすく』網膜芽細胞腫の家族の会」勉強会サポート保育
- ◆ 7月26日(土) 府中市市民活動センター「活動紹介と運営方法」講演
- ◆ 8月21日(木) 神奈川県平塚保健福祉事務所「病児のきょうだい支援」講演
- ◆10月21日(火) 上智大学「生と死のケアリング・コロキウム」講演
- ◆10月～11月 クリスマス工場
- ◆11月 難病のこども支援全国ネットワーク主催「ピアサポーター養成講座」講演
- ◆12月19日(金) 通信30号 発行
- ◆ 2月15日(日)「藤田浩子さんのおはなし会」

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更されることがあります。

1日も早く収束して、また院内での活動が再開され、お友だちに遊んでもらえる日が来ることを祈っております。

病棟へプレゼント



高梨久美さまから「お内裏様」



齋藤いつ子さまから「吹きゴマ」



うれしいお知らせ



活動をご理解・ご支援くださる企業や団体・個人のみなさまから
たくさんのご寄付をいただきありがとうございます。

- ◆藤田浩子さま
おはなし会で使用する「お話し小道具」をたくさんいただきました。
1日も早く小道具を使ってこどもたちと遊べることを祈っております。
- ◆株式会社ソフトクリエイトホールディングスさま
複数回にわたり、ご寄付をいただきました。
- ◆認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークさま
今年もまた活動助成金をいただきました。
- ◆クリフォードチャンス法律事務所さま
今年もまたたくさんのご寄付をいただきました。
- ◆高梨久美さま
季節を感じる内裏びな(折紙)をたくさんいただきました。
病棟へプレゼントさせていただきました。
- ◆齋藤いつ子さま
吹きゴマ(折紙)をたくさんいただきました。
息を吹きかけるとくるくる回って、とてもきれいです。
病棟へプレゼントさせていただきました。



たくさんのご寄付は、こどもたちのために大切に活用させていただきます。

2024年度会計報告

<収入の部>		<支出の部>	
科目	金額	科目	金額
会費	339,000	病児や兄弟・家族の支援事業	240,216
寄付金	1,334,670	兄弟支援に関わる情報発信事業	252,757
難病のこども支援全国ネットワーク	29,998	病児や家族等を対象とした交流事業	0
事業収益(イベント参加費他)	48,100	兄弟支援に関わる勉強会の開催および 学びの機会の提供事業	248,828
受取利息	493	その他目的を達成する為に必要な事業	0
雑収入	1,569	管理部門	407,981
合計	1,753,830	合計	1,149,782
		経費外費用(雑損)	0
		当期正味財産増減額	604,048
		前期繰越正味財産増減額	3,292,447
		次期繰越財産額	3,896,495



協働ステーション中央主催「つながりマルシェ」
ブース出展!!

3月1日(土)午前11時~午後3時 協働ステーション中央にて

「つながりマルシェ」とは?

まちづくり、子育て、福祉、アートなど、暮らしをよくしようとする
社会貢献活動と、活動を始めたい人・連携相手を探したい組
織とのマッチングを生み出すイベントです。

会議室の他、フリースペース・事務所(多目的スペース)・教室・
通路など、所狭しと30以上の団体がブースを出展し、活動紹介
やさまざまな募集をしていました。

「NGO外反母趾研究会」は、「こどもの足の検査と相談会」をして
います。今回は「足の健康と障害予防」の活動を紹介していました。足型をとってもらっ
て、身体バランスのゆがみを知ることって本当に大切なんだな~と実感しました。
「聖路加健康ナビスポットるかなび」は、「認知症カフェや看護相談・勉強会」をしてい
ます。身近に相談できるところがあるって良いですね。
「NPO法人ペット災害危機管理士会」は、大きな災害の時、ペットも一緒に安全に避難
できる町作りの推進を行っています。ペットも大切な家族の一員ですものね。
「DANCINGLISH」は、笑顔の素敵な先生が英語でダンスを教えてくれる教室です。
かわいい女の子がさっそくダンスを習っていました。
マンション防災や気をつけるポイントをクイズで教えてくれたり、防災ポーチの作り方
ワークショップをしてくださった団体もありました。「備えあれば憂いなし。」防災に備える
ことは、人ごとではありませんよね。

今回はたくさんの来場者が来てくれました。
社会貢献活動への関心の高まりを感じる1日でした。



「どうしてわかるの?」



「聞き入っちゃいます(^_^)」



大妻女子大学ボランティア説明会

5月10日(土)午前10時～12時 大妻女子大学にて



活動紹介中

恒例になった大妻女子大学児童学科1年生に向けてのボランティア説明会に今年も参加しました。昨年活動に参加して2年生となった学生さんが中心となり、どんな活動をしたのか説明したり、活動に参加しての自分たちの感想を発表してくれました。先輩として後輩たちに活動内容や感想を伝えるときには、わかりやすく丁寧に説明してくれて、一年間の成長を感じました。

説明会に参加してくれた学生さんたちの中から2名が今年度ボランティアとして活動してくれることになり、一緒に活動できるのを楽しみにしています。



同じ目線で活動紹介

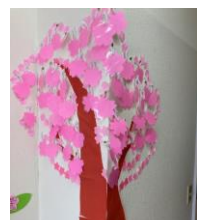
タンポポの種のように ～「臼沢接骨院」での取り組み～

2016年4月から「こどものちから」のスタッフとして活動して下さる臼沢さん。新型コロナウイルス感染症で活動が休止になる前には、小児待合室に立ち寄ってくれるおこさんたちに遊んでもらったり、交流イベントでは、保護者を対象にした「ほぐしのコーナー」を担当して下さっていました。本業は接骨院を経営される整体師です。



スタッフ: 臼沢和広

「こどものちから」の取り組みをまねて院内で飾り付けやちょっとしたプレゼントを用意しています(^_^) すべて活動からヒントをいただきました。最近、仕事と家庭で活動に直接参加できていませんが、すごく活動を応援していますので またタイミングを見て参加させてください。



「春」の壁面飾り



「鬼は～外!」



「クリスマス」の壁面飾り



来院者へのプレゼント



「絵本」って すてき!!

前田母子に出逢ったのはもう10年以上も前「こどものちから」が誕生してまもないころ。おこさんが治療のために入院されたときに小児待合室に立ち寄って遊んでくれました。クリスマスカードを送ると毎回かわいいメッセージを送ってくださるので、私たちも楽しみになったり励みになりました。

前田さんは現在、一般財団法人 絵本未来創造機構認定「EQ絵本講師」として活躍しています。Facebookで「中3息子に絵本の読み聞かせ」と題して、絵本の紹介や息子さんに読み聞かせをした時の反応などを投稿されたのを拝読して、「やっぱり絵本って良いな～」と思い、「こどものちから」通信への寄稿をお願いしました。



網膜芽細胞腫のがん治療を経験した息子を持つ母、 EQ絵本講師の前田美樹より

眠りにつく時間や、大切な人への想いを届けたいときに、そっと寄り添ってくれる2冊の絵本をご紹介します。

1冊目は

『うとうと すうすう』(ぶん:なかそねあつこ/え:おがわゆき)

この絵本は、親子200組以上の声から生まれた、寝かしつけにぴったりの1冊。

登場するのは、眠たげな動物たち。パンダ、くま、ひつじ、ぞう……みんな静かに目を閉じて、うとうと、すうすう。やさしいリズムの言葉が繰り返され、読む人の心まで穏やかにしてくれます。

「3日連続で6～7時間寝てくれました」「もう1回読んでトリクエストされます」など、読者の声からもその効果のほどがうかがえます。また、多くの親にとって負担を感じる寝かしつけを頑張る大人にも届けます。愛おしさに包まれて、幸せな気持ちで眠りへと導いてくれる、まさに「おやすみ絵本」です。



2冊目は

『あなたがいるだけで ～おばあちゃんからのてがみ～』

(作:やまのえりい/絵:はるかみつた)

こちらは、孫への想いを手紙に託した、おばあちゃんからの心あたたまるメッセージ。

「だいすきなあなたに、つたえたいことがある」。どんなときでも、ただ「あなたがいるだけで」いいという深い愛情が、森にくらすクマの家族をモチーフに、美しく温かな色彩で描いています。

やさしいタッチの絵は天然の鉱石を削った絵の具で描かれています。英訳も併記されたバイリンガル仕様で、世界中のこどもたちにも届けたい願いが込められています。読み終えたあと、きっと誰かに「ありがとう」と伝えたくなる、そんな絵本です。どちらも、親子の時間を豊かにし、心をそっと抱きしめてくれる珠玉の一冊です。